

2019年3月期第3四半期 テレフォンカンファレンス 質疑応答概要

Q.第3四半期（3ヶ月間）で減収となった理由について教えてほしい。

A.（取締役常務執行役員：沓澤）欧米減収の影響を日本及びアジアでカバーできなかったためです。

Q.第3四半期（3ヶ月間）の広告宣伝費実績について教えてほしい。

A.（取締役常務執行役員：沓澤）ほぼ前年並みの実績でした。

Q.定番商品が良かった理由について教えてほしい。

A.（取締役常務執行役員：沓澤）「プラレール」ではテレビアニメ「新幹線変形ロボ シンカリオン」関連商品が引き続き好調に推移したことや、「リカちゃん」ではドールやハウス商品を中心に好評を博したことによります。

Q.アメリカズ、欧州が営業赤字となった背景と今後の見通しについて、またトイザらス閉店の影響について教えてほしい。

A.（取締役常務執行役員：沓澤）踊り場の状況ですので、今期はこの傾向が続くと思われます。また、トイザらス閉店の影響につきましては、少なからずありますが、一過性のものと把握しており、大きなリスクになるとは認識しておりません。

Q.営業利益の第4四半期の見通し（通期業績予想－第3四半期実績）が前期に対してマイナスとなっている理由について教えてほしい。

A.（取締役常務執行役員：沓澤）第4四半期については、春から夏に向けた商材展開のために広告宣伝費等をかけていく計画です。

Q.今後の成長ドライバーとなる新規商材について教えてほしい。

A.（取締役常務執行役員：沓澤）内容の詳細は申し上げられませんが、ボーイズキャラクターでのプロジェクトや、夏以降には、グローバル商材の発売を予定するなど、弾の準備を進めているところです。

以上